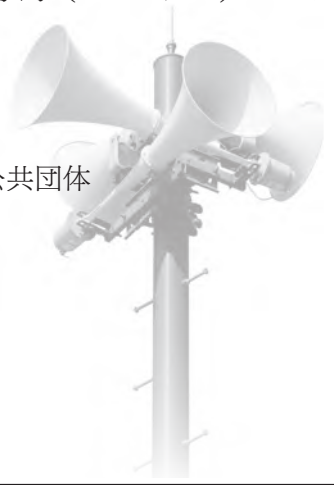


ジエイ アラート J-ALERT(全国瞬時警報システム)自動放送試験を実施します

長野県神城断層地震の発生に伴い、平成26年11月28日の実施を見送りましたJアラートの自動放送試験を次の日程で実施します。当日は、市内に設置している防災行政無線屋外子局（スピーカー）および各家庭に設置されている音声告知放送端末から、緊急放送が一齐に流れます。

なお、訓練放送ですので、実際に行動していただく必要はありません。



日時 2月20日(金) 午後2時15分

実施団体 平成26年11月28日の自動放送試験を実施しなかった全ての地方公共団体

実施内容 防災行政無線および音声告知放送端末から放送を実施

- ①上りチャイム
- ②「これは試験放送です」（3回繰り返し）
- ③「こちらは、“こうほうなかの”です」
- ④下りチャイム

※各家庭の音声告知放送端末では最大音量で放送されます。

※災害発生や気象状況によっては、訓練放送を中止する場合があります。

【全国瞬時警報システム(Jアラート)とは】

国から送信される緊急地震速報、弾道ミサイル発射や武力攻撃といった有事情報など、対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を、人工衛星を利用して、瞬時に国から地方公共団体に伝達し、防災行政無線を自動起動するシステムです。これにより迅速に情報を伝達することを目的としています。

問い合わせ先 危機管理課危機管理防災係 ☎(22)2111(内線285・286)

★当選番号★

00211	00365	00797	00800	00908
01433	01631	01698	01949	02111
02483	02504	02859	02897	03018
03246	04015	04649	04878	04928
05187	05321	05427	05432	05548
05567	05726	05971	06054	06124
06129	06217	06227	06306	06393
06441	06447	06457	06691	07128
07393	07764	07996	08649	08664
08920	08977	08988	09074	09105
09393	09408	09529	09622	10208
10282	10475	10562	10594	10616
10751	10965	11091	11111	11261
11338	11695	11772	11923	12087
12105	12298	12351	12390	12411
12419	12441	12473	12568	12947
12955	13381	13616	13805	14309
14382	14415	14427	14718	14804
14826	15002	15403	15425	16059
16093	16483	16507	16763	16836

※JP(日本郵便)のお年玉付年賀はがきの当選番号ではありません。

「おいしい年賀状」を受け取った方の中から抽選で100人に「中野市産きのこの詰め合わせ」をプレゼントします。当選番号をご確認ください。

また、おいしい年賀状を購入された方の中から抽選で10人に「きのこの詰め合わせ」をプレゼントします。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

◎当選はがきをお持ちの方 次のいずれかの方法でお申し出ください。

【持参・郵送・ファクス】当選した年賀はがきをお持ちいただくか、はがきの表面をファクスまたは郵送でお送りください。(コピー可)

※抽選に必要な内容は隠していただいても構いません。確認後、は

がきは返却いたします。

【電話】当選した番号を電話でお知らせください。その際、差出人を確認させていただきます。

申出期限 2月20日(金)(必着)

商品発送 2月27日(金)ごろ、自宅などへ宅配します。配達日時指定はできません。

◎当選はがきを発送された方 当選した年賀はがきの送付先を売れる農業推進室にお知らせください。

問い合わせ・申し出先 売れる農業推進室推進係

☎(22)2111(内線406) ファクス(22)5924

売れ農

『おいしい年賀状』 当選発表



市民リレー元気の輪

No. 7

飯島久子さん
からのご紹介



○自己紹介

仕事で長い間子どもと関わらせていただいたので、退職後は「子どもが育つ地域活動」を考えていました。そんな折、地元東町のお囃子保存会の皆さんとの出会いがあり、保存会で地区の小学生にお囃子を教えていただきたいと相談したのが10年ほど前でした。

現在「お囃子子ども教室」が発足して7年目となります。6月から11月の間、月に2、3回ほど保存会の皆さんが小学生にお囃子を教えて下さっています。(三味線は外部講師) 毎年11月のえびす講が子どもたちの晴れ舞台で、練習の成果を見るのがとても楽しみです。また、活動を通して皆さんが絆を深め、元氣になっていく様子が感じられ、とても

嬉しく思います。

これまででは地域の大人と子どもが外で会っても、あまり声を掛けていなかったのが、接点が増えてきたことで自然に挨拶や話をするようになってきました。



▲東町子どもお囃子屋台の様子

子どもたちが地域の中でこのような形で育っていけば、地域も活性化するのでないかと思えます。

さらに、子どもたちが大人になった時に、伝統文化継承の担い手となって地域に戻ってきてくれればこんなに嬉しいことはありません。

○元氣の秘訣

老人クラブの集まりやマレットゴルフで仲間と交流するのが元氣の秘訣です。また、孫たちや地域の子どもの元氣な声が、私の元氣の源になっています。

○おらほの自慢

中野市は、著名な音楽家を輩出しています。子どもから大人まで音楽に親しみ、音楽都市づくりに取り組んでいることが自慢の一つだと思います。



小池 守雄 さん (東町)

池田市長の

わくわくレポート

vol. 18



中野市の歴史とロマン

私たちの生活空間は古くからここ北信濃にあり、自然と共生し拓かれてきた地であると思う。高丘丘陵や千曲川沿いには旧石器時代の遺跡が多々あり、千曲川と中野扇状地は古くから人々が暮らす地として選ばれてきた土地であるともいえる。

平成19年、中野市柳沢遺跡から銅戈8本と銅鐸5点が発見されたが、注目すべきは、銅戈と銅鐸と一緒に見つかったのは全国でも珍しく、とりわけ東日本では初めてだったことである。特に銅戈は近畿型7本と同時に九州型が1本発見され、このことは全国でも初めてのことであった。思いを巡らせば、ひょっとしてこの地に相当の文化の拠点、発進の地があり、殷賑を極めていたのでは?と考へたくなる。私たちの生活文化は時代とともに変遷してきている。遺跡から発掘された品々だけでは当時の生活のありようは定かには知れないとは思いますが、弥生時代にこの地では北信濃を代表するような文化が花開いていたと考へたくなるし、また人々が集った所と考へたくなる。時代はかなり下って、戦国時代から様々な文化と人の入れ替え、そ

して交流を経て、江戸期、寛永元年(1624年)に北信濃に徳川幕府領ができ、「御陣屋」が設置された。これが享保年間(1716~1735年)になると中野のみならず小布施町、山ノ内町、高山村、野沢温泉村、栄村、信濃町、飯綱町の大部分を含む、実に5万石の治領となり、明治期まで40人以上の代官が職務にあたったといわれている。

天領文化という言い回しはないそうであるが、司馬遼太郎の言を借りれば、江戸期から明治期へとこの地に形作られた天領としての文化風土は、時代を超えて引き継がれ、そこかしこに残っているように思える。歴史は後々の様々な発見により、変わるものといわれるが、脈々と受け継がれる私たちの生活習慣や風俗にひよっとしたら、天領文化の共通点が発見されるかもしれない。今、広域連携や広域観光が云われる時代、こうした共通点を見出すことも私たちにとっては新しい地域価値を生み出す源泉になると思える。歴史はロマンである。この地に生を受けて、過去を振り返る中で、誇りと愛着を感じ、こころ豊かに暮らせる、正にそんな故郷を、皆さんと一緒に創っていききたいと思う。